

研究科教授会議事要旨

日 時 平成26年12月18日(木) 13時39分～15時22分

場 所 ユメンスホール

出席者 中道研究科長

前迫、苧阪、檜垣、山本、石井、森川、篠原、釘原、佐藤、臼井、青野、日野林、金澤、志村、足立、熊倉、八十島、中野、山田、友枝、川端、吉川、牟田、ノース、山中、斉藤、稲場、辻、中山、シュベントカー、中川、栗本、村上、森田、白川、藤川、三宮、藤岡、老松、井村、岡部、西森、野坂、佐々木、野村、近藤、小野田、志水、中澤、園山、高田、中村、澤村、千葉、藤目、神前、岡田、小林、河森、ズグスタ、鈴木、大谷、福岡の各教員
(計64名)

欠席者 渥美、バイサウス、赤井、木村、三好の各教員(計5名)

海外渡航者等 権藤、平沢の各教員(計2名)

[議事に先立ち、前回(11月27日)の議事要旨を確認した。]

議 事

(協議事項)

1. 研究科委員会の議決事項について
本日開催の研究科委員会の議決事項について説明があり、審議の結果、これを承認した。
2. 基礎人間科学講座教授の選考について(第1回)
資料1に基づき、同講座教授候補者の選考経過、経歴等について説明があり、審議の結果、次回継続して審議することとした。
3. グローバル人間学専攻教授選考委員会の立ち上げについて
審議の結果、同専攻教授選考委員会を設置することについて承認した。
4. 社会環境学講座准教授選考委員会の立ち上げについて
審議の結果、同講座准教授選考委員会を設置することについて承認した。
5. 国際交流室専任講師選考委員会の立ち上げについて
審議の結果、同室専任講師選考委員会を設置することについて承認した。
6. クロス・アポイントメント制度における協定の締結及び特任教授(常勤)の雇用について
国際共同研究促進プログラム短期人件費支援において、クロス・アポイントメント制度を適用した協定の締結及び、特任教授(常勤)候補者を雇用することについて、運営会議で承認された旨、説明があった。
続いて、資料2に基づき、協定書及び特任教授(常勤)候補者の経歴、研究業績等につ

いて説明があり、審議の結果、協定の締結及び特任教授（常勤）採用を承認した。なお、協定期間は平成27年4月1日から平成28年3月31日の1年間とし、雇用期間は平成27年7月8日から平成27年8月7日までとした。

7. 助教の割愛について

(1) 社会環境学講座助教の割愛について

龍谷大学社会学部長から平成27年4月1日付けで講師へ割愛依頼があったことの説明があり、審議の結果、これを承認した。

(1) グローバル人間学系（共通）助教の割愛について

首都大学東京学長から平成27年4月1日付けで准教授へ割愛依頼があったことの説明があり、審議の結果、これを承認した。

8. 人間科学研究科の改組について

共生学系を創設し「未来共生学講座」「グローバル共生学講座」の2講座を設置し、先端人間科学講座を発展的に解消した上、系を越えた異動もあることについて運営会議で承認されたこと、及び改組に伴い全ての教職科目について再度審査が必要となることが判明した旨、説明があった。続いて、新しい研究分野の担当案を執行部で作成し、各分野の担当候補者については個別で面談を進めていく旨、提案があり、審議の結果、承認した。

9. 部局の現状認識、今後の機能強化に係る部局運営方針について

資料3に基づき、平成27年1月29日（木）に行われる、総長・理事等による部局運営方針等ヒアリングに向けて執行部で作成した、人科の現状認識や部局運営方針について説明があり、審議の結果、本部への提出までに執行部による若干の修正があることを含めて、これを承認した。

10. 平成28年度概算要求について

資料4に基づき、平成28年度概算要求について説明があり、審議の結果、大学院組織整備費と未来共創棟（仮称）の新設を要求することについて、承認した。

11. 人間科学部・人間科学研究科教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー及びカリキュラムマップ（学位プログラム版）の策定について

資料5に基づき、教育改革推進室にて人間科学部・人間科学研究科教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー及びカリキュラムマップ（学位プログラム版）を作成した旨、説明があり、審議の結果、本部への提出までに執行部による若干の修正があることを含めて、これを承認した。

12. 外国人招へい研究員の受入れについて

資料6に基づき、外国人招へい研究員1件について説明があり、審議の結果、受入れを承認した。

13. その他

(1) 箕面キャンパスから吹田キャンパスへの移動に伴う居室確保について

箕面キャンパスの教員が吹田キャンパスへ移動することについて説明があり、吹田キャンパスの各講座から1スパンプラスアルファを拠出し、研究科長裁量スペースとして管理することについて施設マネジメント委員会及び運営会議で承認を得ている旨説明があった。講座により大学院生数に差があるため、「プラスアルファ」に重きをおく旨、補足説明があり、審議の結果、これを承認した。

(報告事項)

1. 各種委員会等報告について

各委員長・委員等から、19件の報告があった。

[学内関係]

(1) 国際教育交流センター教授会 (11.28)

(2) 情報化推進会議 (12.8)

(3) 入試委員会 (12.10)

(4) 全学教育推進機構会議 (12.12)

(5) 国際交流委員会 (12.16)

(6) 吹田地区部局長会議 (12.17)

(7) 部局長会議 (12.17)

(8) 教育研究評議会 (12.17)

(9) 教育改革推進会議 (12.18)

(10) 吹田地区事務長会 (12.9)

(11) その他

・未来戦略第一部門

[部内関係]

(1) 教育国際化推進委員会 (11.27)

(2) 防災対策委員会・部局安全衛生委員会 (12.4)

(3) 施設マネジメント委員会 (12.10)

(4) 大学院入試運営委員会 (12.11)

(5) 教務委員会 (12.11)

(6) 運営会議 (12.17)

(7) 各室報告

(8) その他

2. 教員の海外渡航について

資料7に基づき、4件の報告があった。

3. その他

なし。

以上